



JALグループ東北応援の取り組み 最新活動レポート vol.2

被災地での社員研修プログラム 福島の子どもたちを応援するチャリティ・マイル

JALグループでは、「地域振興」「被災された方の応援」という観点からさまざまな活動に取り組んでいます。前号に引き続き、それらのなかから最新の活動事例をご紹介します。



右／「平時からできることを考えよ、という安全訓が参考になりました」(真行寺誠) 中／「ボランティア作業は、被災された方々のお役に立っているんだという気持ちで活動できました」(湯浅美智) 左／「自分にできることに、東北産の食べ物などを積極的に購入することを追加しました」(谷口夏美)



まずは私たちが現地を訪れ、見て、聞いて、被災地の今を感じる

被災地での社員研修プログラム

昨年9月より開始した被災地での社員研修プログラム。今年度は訪問先を岩手県に移して実施しています。この研修は、現地に身を置いて被災地の現状を正しく理解すること、自分たちに何ができるのかを考えること、そして、現地での宿泊や買い物を通じて地元経済の活性化に貢献することを目的としています。

1日目は、まず久慈市へ。昨年、テレビドラマで脚光を浴びた三陸鉄道の震災学習列車に乗り込みます。震災からわずか5日で、鉄道の一部区間の運行を再開した三陸鉄道。車窓に今は穏やかな北三陸の海や復興を待つ町を見ながら、職員の方に当時のお話を伺うと、地域を支える公共交通機関としての使命感や、平時からの安全意識の高さがかがいがい知れ、胸にずしりと響きます。宮古市田老地区は古くから津波被害が多く、総延長2600メートル、高さ10メートルの防潮堤を築くなど、防災に力を入れてきたそうです。しかし東日本大震災による津波は、この巨大な防潮堤をも壊し、乗り越え、町を襲いました。残った防潮堤の上で「学ぶ防災」ガイドの方が語る体験談や津波の映像に衝撃を受けると同時に、悲劇を繰り返さないために語り継ごうとする強い思いに、心を打たれます。

2日目は、大槌町へ。「遠野まごころネット」理事長(白澤良一さん)のお話を伺い、ボランティア作業を行います。多くのものを失ったけれど、物よりも人の心のありがたさや、ともに生きることの大切さを知ったと語る白澤理事長。「生かされた者として何ができるか」を日々考えて、復興の先頭に立つ姿に頭が下がります。

6月の研修に参加した遠藤洋二は、想像もつかないつらい体験をされた被災者の方が、悲しみや苦しみを乗り越え、多くの人に感謝し、前を向いて強く生きている姿に心を動かされた振り返ります。

「最後に『皆さん、食べて、飲んで、楽しんで帰って』と言われたときには、溢れる涙を止めることができませんでした」被災地を巡りながら、合間には、道の駅や仮設商店街などにできるだけ多く立ち寄り、皆々さんのお土産を購入します。9月の研修の参加者たちは、こう言います。



「テレビのニュースやインターネットの記事からは伝わってこなかった本場の現地の様子と、まだ復興には程遠い実情を知ることができました。そして被災地を忘れないことが一番大切だと実感しています。これからも細くても長く支援を続けたいです」(関戸千穂) そんな思いを共有しながら、今月も約40名の社員研修の参加者が岩手県を訪れます。



「つらいご経験をされたにもかかわらず、その現地に立って自分の体験をすべてお話しされる姿に、胸が詰まりました」(久芳珠子)

宮古観光文化交流協会 「学ぶ防災」ガイド・ 元田久美子さんからの メッセージ

私は岩手県宮古市田老地区で被災地の案内をしています。田老は過去にも津波の被害を受けており、防災情報・施設を整備し、御霊を鎮魂し、災禍を繰り返さない「津波防災の町」を宣言しましたが、東日本大震災で甚大な被害を受けました。またいつか起きるであろう災害に向けて最も大切なことは、自分で自分の命を守る意識です。いつ襲ってくるかわからない災害。そのときは最善の避難をしてください。大切なあなたの命を守るために。



あいくーとともに、 福島の子どもたちを応援

「ふくしま児童クラブ遊び隊」 応援チャリティ・マイル

年初、国内空港ラウンジに展示した『あいくー』。福島県大熊町から会津若松市に避難した女性グループ『會空』の皆さんが会津木綿で手作りするクマのぬいぐるみです。

そのあいくーとともに、福島の子どもたちを応援すべく、JMB会員の皆さまにご協力を呼びかけた「ふくしま児童クラブ遊び隊」応援チャリティ・マイル。220万5000マイルもの寄付をいただき、セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンを通じて、南相馬市、相馬市の全23クラブ、延べ1000人にのぼる子どもたちの放課後遊びを支援しました。

南相馬市では、15の児童クラブにドッ

あいくーが 「JAL にとっておきの逸品」に登場！

新たなコラボレーションとして、今月よりJMBのマイル交換商品にあいくーが登場する予定です。JALオリジナルの可愛い冬衣装に身を包み、小さなお家のなかで、皆さまのお手元に届けられる日を待っています。あいくーを通じて、會空の皆さんの故郷を思う気持ちを感じてください。

■詳細は下記のウェブサイトをご覧ください。
www.jal.co.jp/jalmile/use/ippin/



限定150セット
(1セット10,000マイルで交換)
をご用意。2月以降には
春らしいセットも準備中です。